記者発表資料

平成２４年４月６日
秋田河川国道事務所

平成２４年度　秋田河川国道事務所の事業概要について

平成24年度の秋田河川国道事務所の所管する事業について予算が決定したのでお知らせします。
予算の執行にあたっては、地域の資源、特性を活かした産業の自立・持続的な地域の実現を支える社会基盤整備を推進するとともに、自然災害に対する安全・安心の確保を図って参ります。

【予算概要】

平成24年度の工事関係費は、河川関係約10億5700万円、道路関係約72億9，200万円の予算により事業を進めて参ります。

（※予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している「改築」「交通安全」」「一般河川改修」「河川工作物関連応急対策」「総合水系環境整備」の各事業の合計額を示す。また、業務取扱費を含まない。）

【主要事業】（別添資料添付）

河川関係では、雄物川下流・子吉川において洪水を安全に流下させるための河道掘削を推進します。

道路関係では、規格の高い道路のネットワークの整備として、国道7号の自動車専用道路である**象潟仁賀保道路は金浦IC（仮称）から仁賀保IC（仮称）間の供用、仁賀保本荘道路は全線供用、国道46号角館バイパスは全線供用**を図ります。

現道の整備では、国道7号下浜道路は設計、用地買収、工事を推進し、国道7号秋田南バイパスは雄物大橋の上部工に着手、国道13号河辺拡幅では工事を推進します。

また交通安全対策として、にかほ市平沢地区歩道整備及び由利本荘市二古交差点改良は設計、用地補償、秋田市相染地区歩道整備は用地補償、工事を推進し、大仙市協和荒川地区の線形改良に着手します。

記者発表先《秋田県政記者会》

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所 〒010-0951　秋田市山王一丁目１０－２９ TEL　０１８（８２３）４１６７ 副　所　長（河川）　槻山（つきやま）　敏昭（としあき）　（内線２０４） 副　所　長（道路）　今野（こんの）　敬二（けいじ）　（内線２０５）

※秋田河川国道事務所HPにも掲載しています。http://www.thr.mlit.go.jp/akita/

参考資料

平成24年度
東北地方整備局
秋田河川国道事務所

事業概要

平成24年4月6日

•平成24年度秋田河川国道事務所の主要事業箇所

安全で安心できる地域づくり

○　雄物川下流　新波地区河道掘削・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料1
○　子吉川　石脇地区河道掘削・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料2
○　国道7号　平沢歩道整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料3
○　国道7号　二古交差点改良・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料4
○　国道7号　相染歩道整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料5
○　国道46号　荒川線形改良・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料6

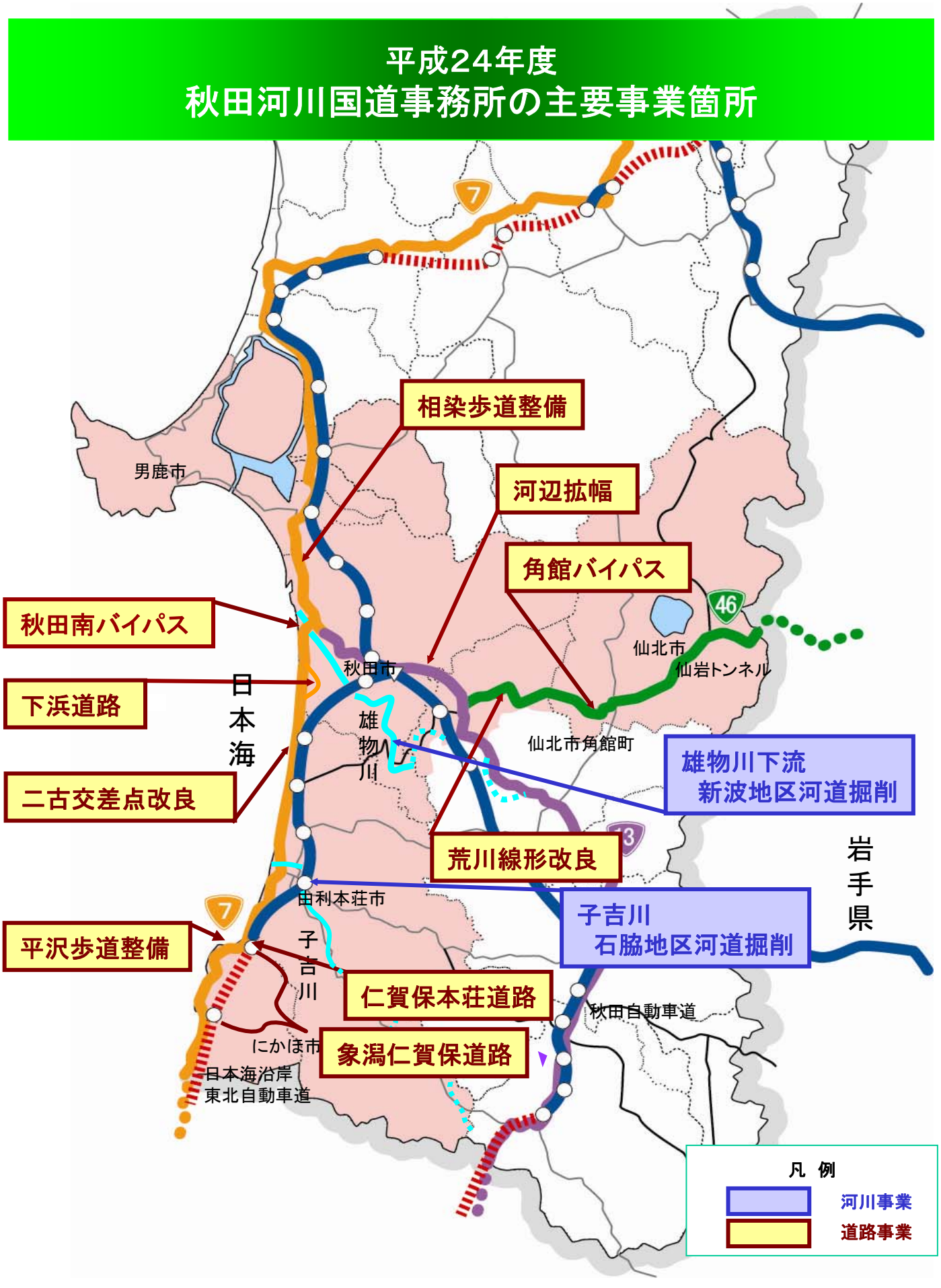
強い秋田の創造

○　国道7号　象潟仁賀保道路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料7
○　国道7号　仁賀保本荘道路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料7
○　盛岡秋田道路　国道46号　角館バイパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料8

魅力ある都市づくり

○　国道7号　下浜道路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 参考資料9
○　国道7号　秋田南バイパス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料10
○　国道13号　河辺拡幅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・参考資料11

平成24年度
秋田河川国道事務所の主要事業箇所



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－１

事　業　名	雄物川下流　新波（あらわ）地区河道掘削　－　整備着手
事業概要	雄物川下流では、近年最も被害の大きかった昭和62年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる能力が不足しているため、河道掘削により治水安全度の向上を図ってきております。 平成23年度は新波地区の用地買収及び河道掘削を実施します。
事業効果	

課　題

●中流部は上下流に比べ改修が遅れており流下能力達成率が相対的に低い

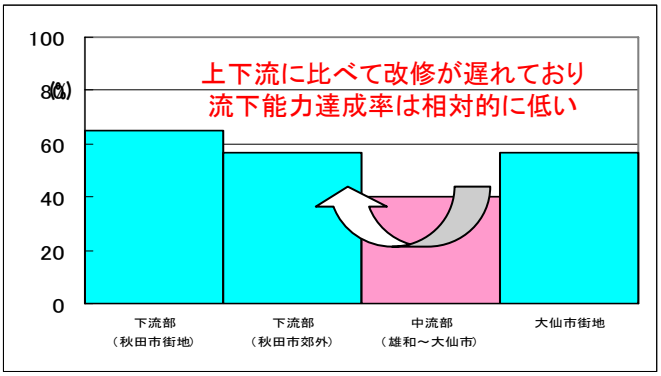
●昭和62年8月洪水で甚大な被害を受けた上流側から順次整備中であるが、当該区間の流下能力不足により、同規模の洪水を安全に流下させることができない。

整備による効果

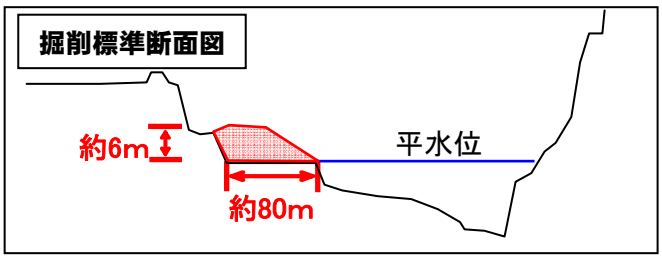
○昭和62年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下。（他箇所の河道掘削等含む）

○上流への水位低減効果により、広範囲にわたって治水安全度向上に寄与





流下能力達成率（現況の流下能力／計画高水流量）



◆新波地区の状況◆





主要事業の概要　　安全で安心できる地域づくり　　参考資料－２

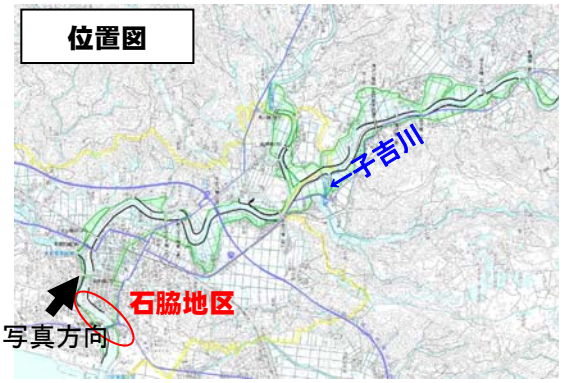
事　業　名	子吉川　石脇（いしわき）地区河道掘削　－　整備推進
事業概要	由利本荘市街地を流れる子吉川は、ボトルネックの影響で流下能力が不足しており、戦後最大洪水である昭和22年7月洪水と同規模の洪水が発生すれば甚大な被害が想定されることから、河道掘削により治水安全度の向上を図ってきております。 平成23年度は石脇地区の河道掘削を推進します。
事業効果	

課　題

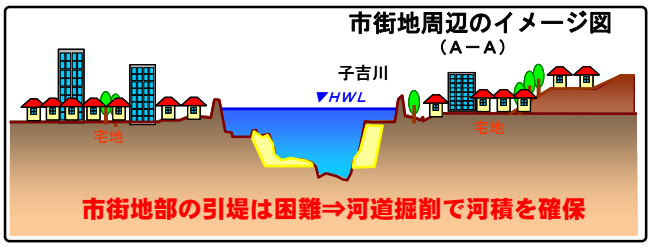
●ボトルネックで流下能力（河積）が不足
●この影響で洪水時に水位上昇が発生
●背後は人口資産が集中する由利本荘市街地
　⇒引き堤は困難であるため河道掘削を実施

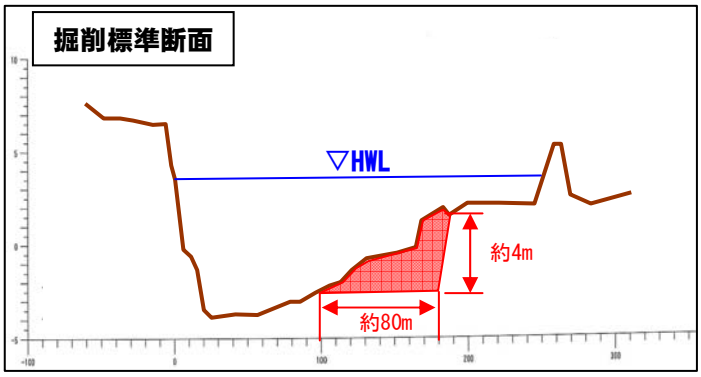
整備による効果

○昭和22年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下（他箇所の河道掘削等含む）
○上流への水位低減効果により、広範囲にわたって治水安全度向上に寄与









◆石脇地区（芋川合流地点）の状況◆





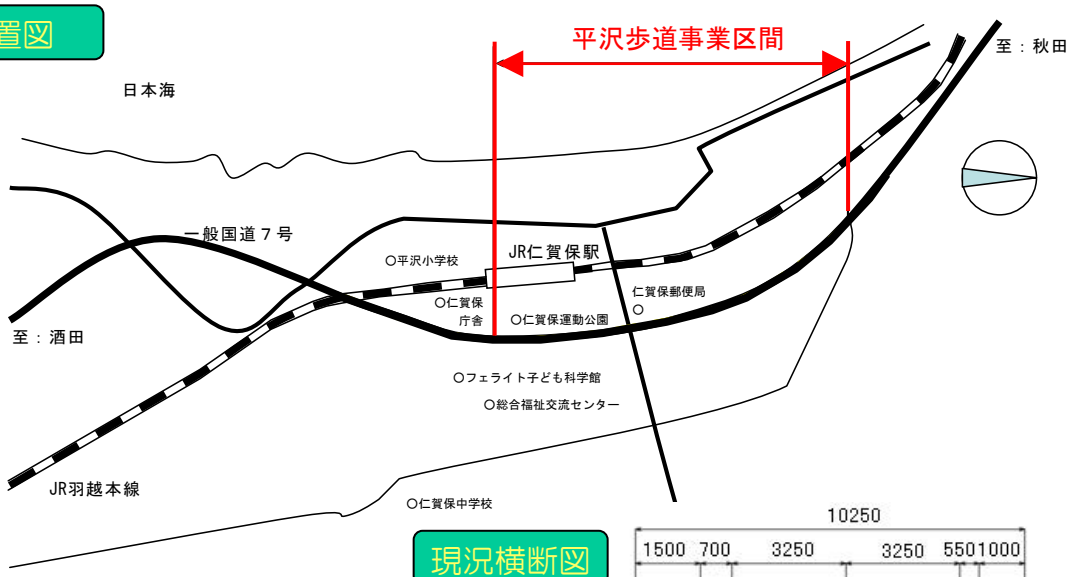
主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

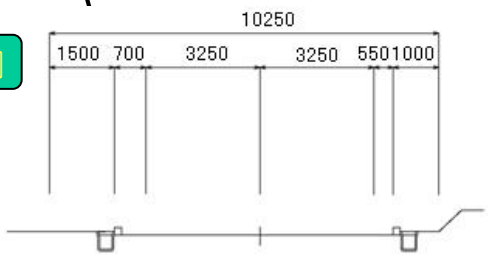
参考資料－３

事　業　名	**国道７号　秋田７号交差点改良等（平沢（ひらさわ）歩道整備）　－　整備推進**
事業概要	当該箇所は、秋田県にかほ市平沢地区に位置し、沿線には仁賀保運動公園、仁賀保郵便局、近隣には市役所仁賀保庁舎および小学校があり、通学路にも指定されています。しかし、上下線とも歩道有効幅員が確保されていないことや段差や勾配があるためバリアフリー化が必要な区間になっています。 そのため、当該箇所において、歩道の整備、波打歩道の改善により、安全かつ快適に通行可能な歩行空間を確保します。今年度は調査設計・用地補償を推進します。
事業効果	**現状の問題・課題**：①安全・快適な歩行者通行及び 自転車利用環境の整備 ⇒ **期待される整備効果**：①安全で快適に通行できる歩行者空間の確保

位置図



現況横断図

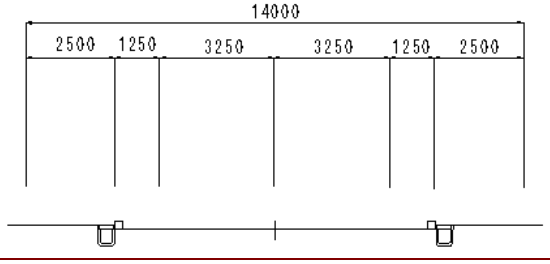


平沢地区の現況



計画横断図

歩道拡幅　段差改善



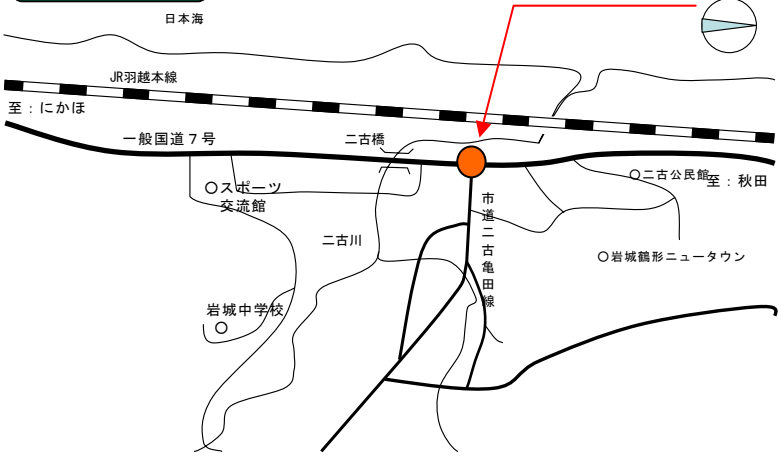
主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－４

事　業　名	**国道７号　秋田７号交差点改良等（二古（ふたご）交差点改良）　－　整備推進**
事業概要	当該箇所は、秋田県由利本荘市岩城二古地区に位置する交差点です。右折レーンが無いため、右折交通が直進交通を阻害し、渋滞及び追突事故等が発生しています。 本事業は、右折レーンの新設により、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ることを目的にしています。 今年度は調査設計・用地補償を推進します。
事業効果	**現状の問題・課題** **①右折レーンがないことによる追突事故の発生** **②右折レーンがないことにより直進交通の阻害** ⇒ **期待される整備効果** **①交通事故の削減** **②交通の円滑化の確保**

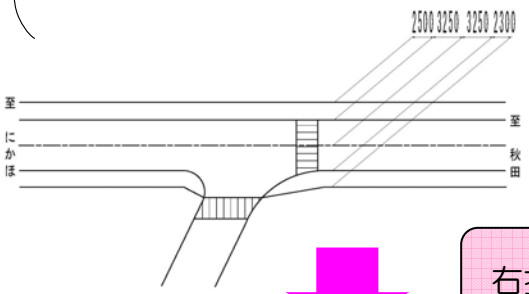
位置図



二古交差点の現況

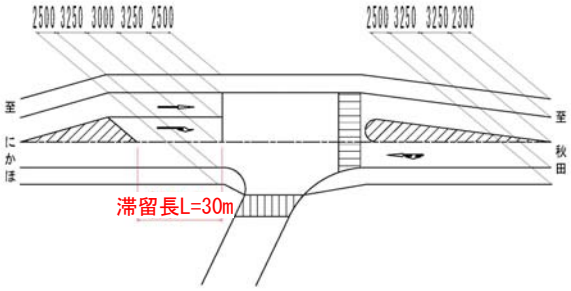


現況平面図



右折レーンの新設

計画平面図



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

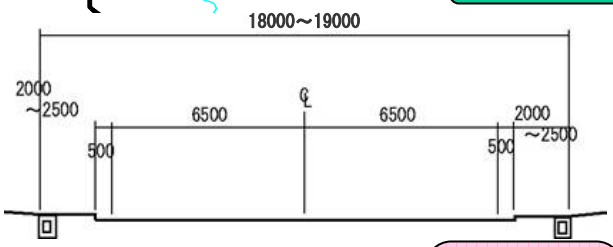
参考資料－５

事　業　名	国道７号　秋田７号交差点改良等（相染（そうぜん）歩道整備）　－　整備推進
事業概要	当該区間は、秋田県秋田市土崎港相染町地区に位置し、周辺には複数の学校、JR駅、病院及び商業施設が連担していることから、自転車・歩行者が多く、通学路にも指定されています。しかし、上下線とも歩道幅が狭く、段差や急な勾配もあるため、バリアフリー化が必要な区間になっています。 そのため、当該箇所において、歩道の拡幅、波打歩道の改善、合わせて無電柱化の整備を進め、安全かつ快適に通行可能な歩行空間を確保します。 今年度は用地補償・工事を推進します。
事業効果	**現状の問題・課題** ①安全・快適な歩行者通行及び 自転車利用環境の整備 ②電柱・電線類の地中化 ⇒ **期待される整備効果** ①安全で快適に通行できる歩行者空間の確保 ②景観向上・災害時の交通確保

位置図



現況横断図

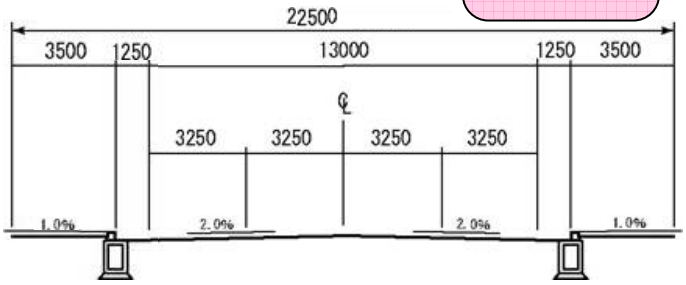


相染地区の現況



計画横断図

歩道拡幅
段差改善
無電柱化



主要事業の概要

安全で安心できる地域づくり

参考資料－６

事　業　名	**国道４６号　秋田４６号交差点改良等（荒川（あらかわ）線形改良）** **－　整備推進・新規着手**
事業概要	当該箇所は、秋田県大仙市協和荒川地区に位置し、急なカーブが連続するなど見通しが悪いため、道路利用者から危険な箇所と認識されており、円滑な交通に支障をきたしています。 また、道路勾配も急なことから冬期積雪時には、大型トラックが登れない等、問題も発生しています。 そのため、当該箇所において、連続カーブの解消、縦断勾配の修正を実施し、交通安全の確保を図ります。今年度は調査設計を推進します。
事業効果	**現状の問題・課題** **①急カーブが連続するため走行が不安定** **②冬期積雪時の急勾配による立ち往生** ⇨ **期待される整備効果** **①交通事故の危険性低減** **②冬期積雪時の交通障害解消**

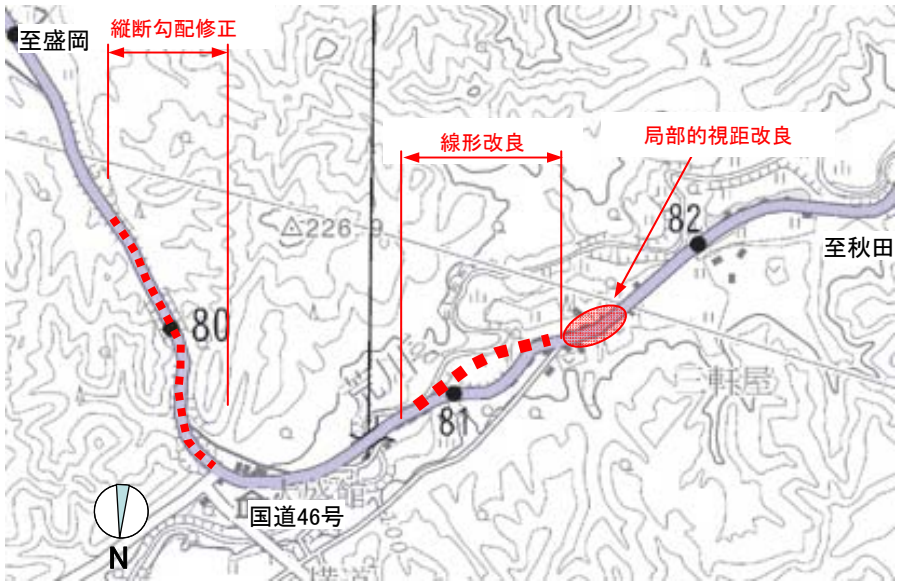
位置図

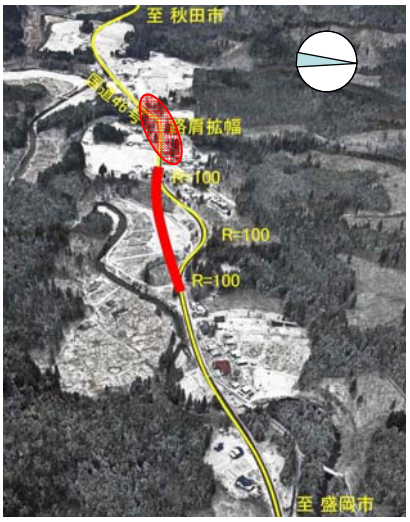


荒川地区の現況



対策案





主要事業の概要

強い秋田の創造

参考資料－7

事　業　名	**国道７号　象潟仁賀保道路－　整備推進・一部暫定2車線供用** **国道７号　仁賀保本荘道路－　整備推進・全線暫定2車線供用**
事業概要	国道７号の交通混雑の緩和や騒音など沿道環境の改善、また災害時の代替路としての機能確保などを目的に、国道７号の自動車専用道路の整備を進めています。 「象潟仁賀保道路L=13.7km」のうち、象潟IC(仮)から金浦IC(仮)(L=6.8km)については、設計協議、用地買収、改良及び橋梁工事を推進し、金浦IC(仮)から仁賀保IC(仮)(L=6.9km)については舗装工事を完了させ、供用を図ります。 「仁賀保本荘道路L=12.5km」については、平成１９年９月１７日に開通した区間(にかほ市両前寺から本荘IC間11.2km)の南1.3kmについて、舗装工事を完了させ、供用を図ります。

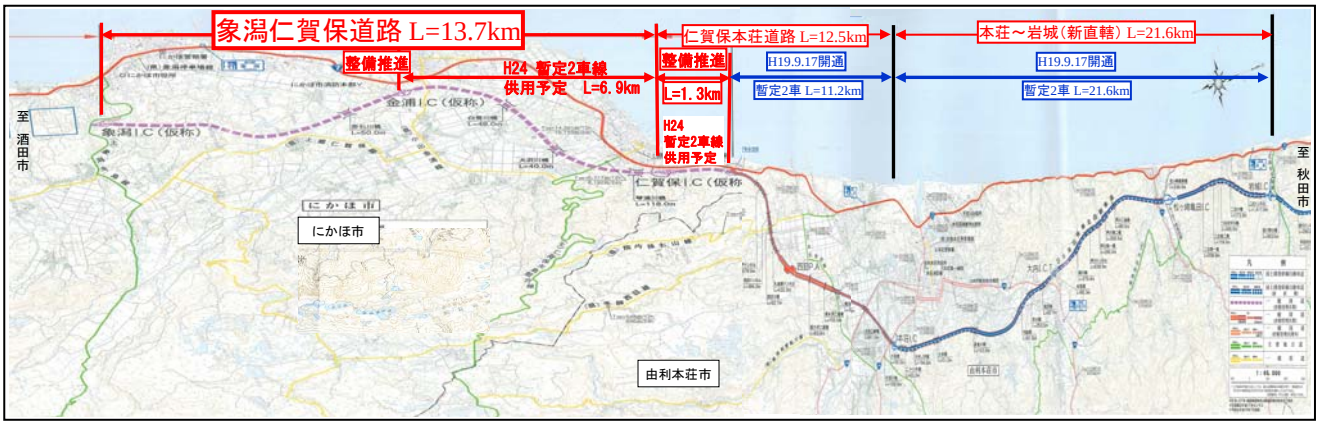
事業効果

課　　題

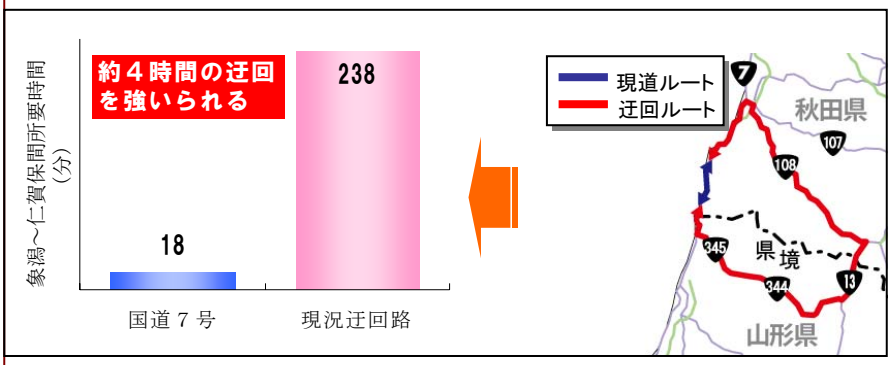
①国道７号の交通混雑や騒音など、沿道環境の悪化
②３次救急医療施設など秋田市内の主要施設のアクセス性の改善
③事故などによる通行止め時の大幅な迂回の発生

整備による効果

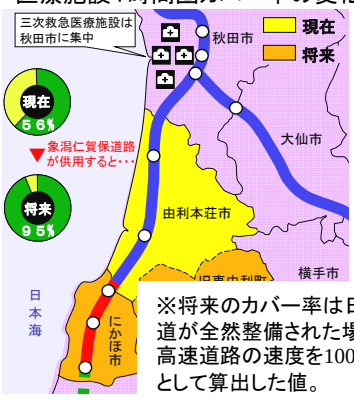
①快適で活力ある社会生活の確保
②安心できる生活の確保
③代替路による交通の信頼性確保



▼象潟～仁賀保間の所要時間(大型車)



▼本荘由利地域における三次救急医療施設1時間圏カバー率の変化



※将来のカバー率は日沿道が全然整備された場合で、高速道路の速度を100km/hとして算出した値。

主要事業の概要

強い秋田の創造

参考資料－8

事業名	盛岡秋田道路（もりおかあきた） 国道46号 角館（かくのだて）バイパス ― 整備推進・全線暫定2車線供用
事業概要	角館バイパスL=6.1kmは、秋田県と岩手県の地域間交流の促進、交通隘路（直角曲がり）の解消及び観光交通の円滑化と観光産業支援のほか、通過交通排除による現道の交通混雑の緩和などを目的に整備を進めています。 今年度は、角館町雲然から西長野月見堂までの1.5kmについて改良、舗装及び橋梁工事を完了させ、供用を図ります。

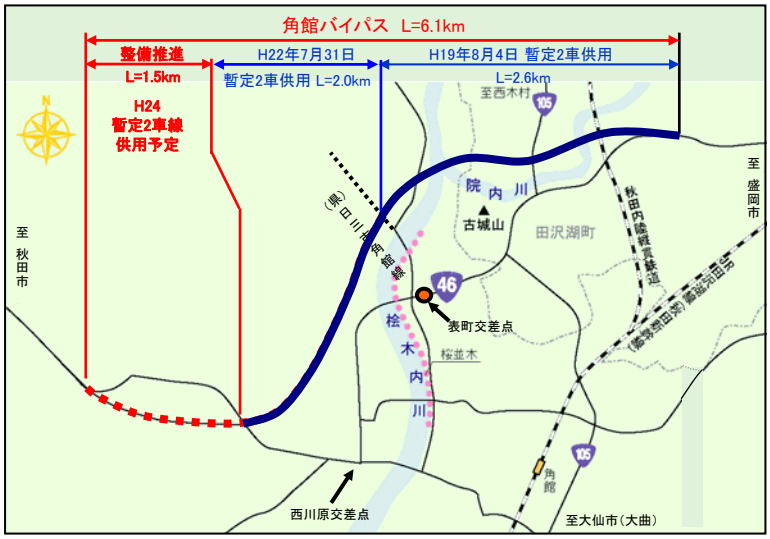
事業効果

課題

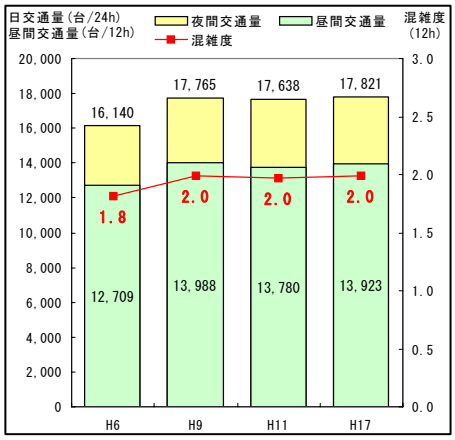
①国道105号との重複区間では平常時も交通が集中
②冬季には、幅員狭小でサービスの低下が著しい
③行楽シーズンには観光交通で渋滞が発生

整備による効果

①秋田～盛岡間の幹線交通が受ける渋滞損失の削減
②沿道の生活環境の改善、冬季道路サービスの改善
③歴史観光都市・角館の振興景観に配慮した道路整備



▼現道の交通量及び混雑度の推移



▼冬期サービスレベルの低下（国道46号西野川原交差点付近）



▼さくら祭り期間の渋滞状況
（国道46号表町交差点付近）



主要事業の概要

魅力ある都市づくり

参考資料－９

事　業　名	国道７号　下浜（しもはま）道路 ― 整備推進
事業概要	下浜道路L=6.2kmは、国道７号秋田市下浜地区の交通渋滞の解消や沿道の生活環境の改善、観光時における観光交通と通過交通の分離及び交通事故の削減のほか、地域間の交流・連携の活性化などを目的に、整備を進めています。 今年度は、設計協議、用地買収、改良及び橋梁工事を推進します。

事業効果

課　　題

①歩道も無い２車線道路に、約２．３万台/日の交通が集中し、渋滞や騒音などによる沿道生活環境の悪化。また、冬期の歩道確保も困難
②付近に県内有数の海水浴場もあり、観光時の交通集中による渋滞も著しい
③死傷事故が発生しており、安全安心な生活環境に支障をきたしている

整備による効果

①通過交通の排除で沿道の生活環境の改善及び学童の通学環境の改善
②観光時には、観光交通と通過交通の分離が可能
③死傷事故件数の大幅な削減

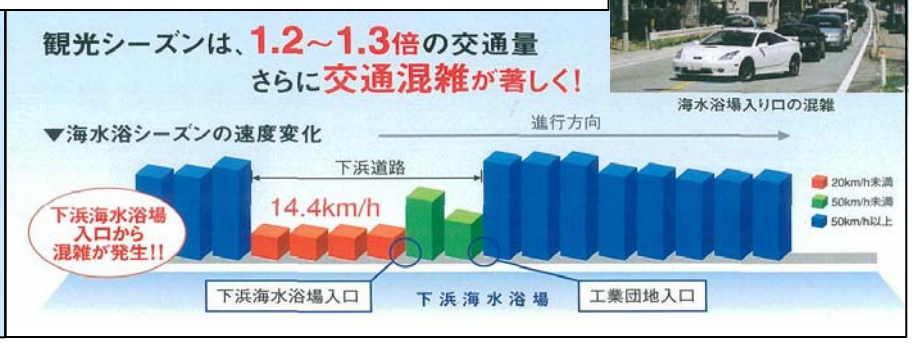
▼歩道未整備区間の状況



▼国道7号現況交通量の推移



▼観光シーズンの渋滞



海水浴場入り口の混雑

主要事業の概要

魅力ある都市づくり

参考資料－10

事　業　名	国道７号　秋田南（あきたみなみ）バイパス ― 整備推進
事業概要	秋田南バイパスL=8.5kmは、秋田市内の交通渋滞の緩和、安全の確保、沿道環境の改善を図り、幹線道路としての機能回復を目的に計画された完成４車線のバイパスであり、昭和５０年度に事業化し平成１４年度に全線暫定２車線供用したものです。しかし近年の交通需要の増加に伴い新たな交通渋滞が発生しているため、秋田市新屋愛宕町から新屋三小屋までの2.2kmについて４車線化を整備するものです。 今年度は、雄物大橋の下部工を推進し、上部工に着手します。

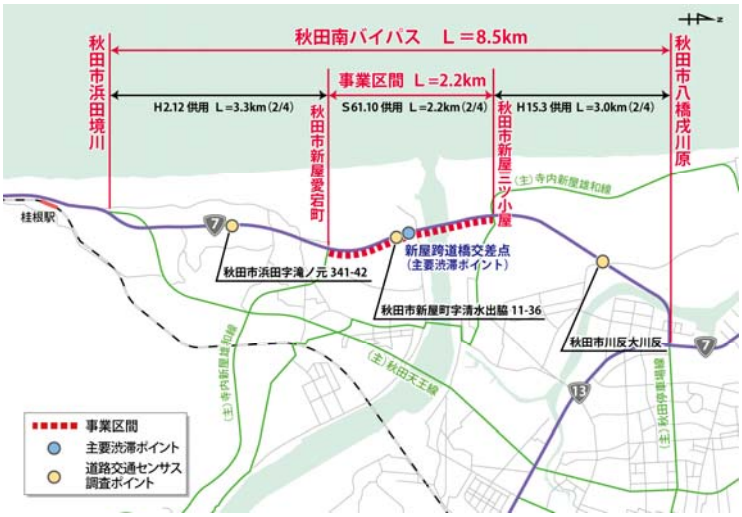
事業効果

課　　題

①２車線道路に約２．５万台/日の交通が集中し、特に通勤時に著しい渋滞
②通勤時間外においても交通混雑

整備による効果

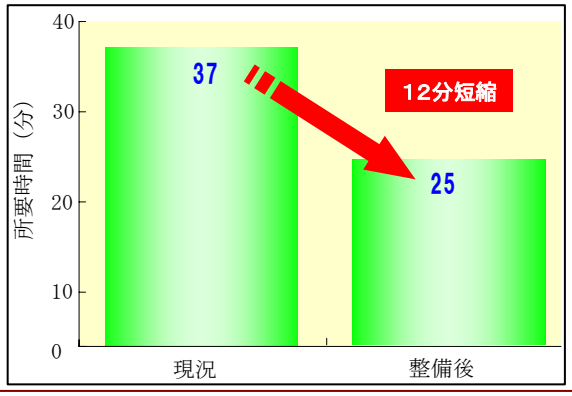
①朝夕の通勤時の渋滞解消による、円滑な生活環境の確保
②秋田空港や秋田港への速達性向上による、観光振興及び社会経済活動の活性化
三次救急医療施設への速達性向上による、安心な生活環境の確保



▼渋滞の著しい新屋こ道橋交差点



▼下浜地区から秋田県庁までの所要時間



主要事業の概要

魅力ある都市づくり

参考資料－11

事　業　名	国道１３号　河辺（かわべ）拡幅　―　整備推進
事業概要	河辺拡幅L=6.6kmは、国道１３号秋田市河辺地区の交通渋滞の解消や沿道の生活環境の改善、三次救急医療施設や秋田空港への速達性向上のほか、秋田自動車道へのアクセス性向上による地域間交流の促進を目的に整備を進めています。これまで、秋田市河辺北野田から上北手古野までの2.4kmについて供用済です。 今年度は、主要地方道秋田北野田線から河辺和田下石川地内までの600mについて改良及び舗装工事を推進します。

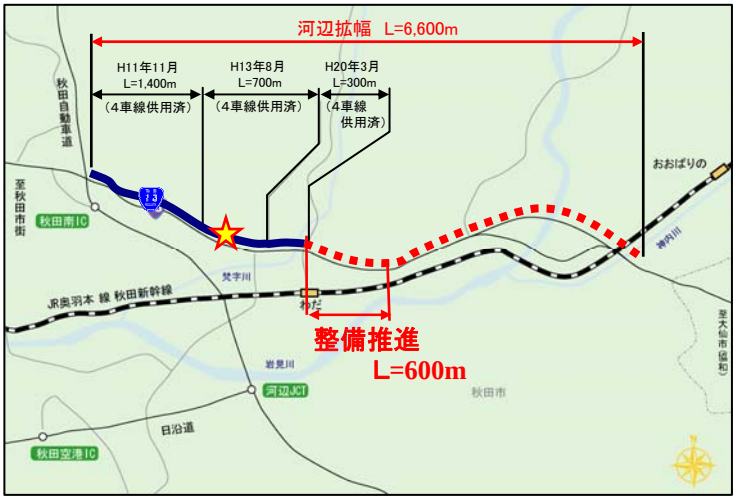
事業効果

課　　題

①２車線道路に約２．４万台/日の交通が集中し、特に通勤時に著しい渋滞
②通勤時間外においても交通混雑

整備による効果

①朝夕の通勤時の渋滞解消による、円滑な生活環境の確保
②秋田空港や秋田港への速達性向上による、観光振興及び社会経済活動の活性化
③三次救急医療施設への速達性向上による、安心な生活環境の確保



▼拡幅前の河辺地区の渋滞状況



▼拡幅後の河辺地区の交通状況



▼H13年部分供用後の渋滞長及び所要時間の変化

